

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

奥の細道
むすびの地
大垣

令和八年六月度 入賞句一覧

投句数 千二百五十九句

特選

寺田 好子 選

どくだみ草名は怖いけど葉はハート

大垣市

藤井 廉（小五）

「どくだみ」は日本全国の道端や日陰の湿地に自生する多年草で、独特の強い臭いがあります。名前の由来は、毒や痛みをおさえる優れた薬効に由来していて、多くの効能を持つことから「十薬（じゅうやく）」という別名で親しまれている、日本の代表的な薬草です。「どくだみ」とは不気味で怖い印象の名前ですが、作者は草の葉が可愛いハート形をしていることに気がついてどこことなくほつとしたのではないのでしょうか。

五月雨やW i l f i弱き窓の際

大垣市

市川 椋一（中二）

「五月雨（さみだれ）」は旧暦の五月（現在の六月頃）に降り続く梅雨の長雨を指す夏の季語です。「五月雨」は雅な季語でもありますが、長雨にうつとうしさを感じることも事実です。窓際ではW i l f iがつながりにくいことで、作者は少し気が滅入っているのでしょうか。インターネットを利用することが当たり前になつてきたこの頃、若い人らしい新しい視点の作品となりました。

じいちゃんをつくったトマトかぶりつく

大垣市

田口 奏羽（小六）

この作品では「トマト」ですが、おじいちゃんは夏場は畑できゅうりやなす、かぼちゃなどいろいろな野菜を育てているのでしょう。作者は一年を通じて季節の野菜を育てているおじいちゃんやんの丹精を知っています。このトマトもおじいちゃんやんの愛情のたまもの、おいしいことがわかってかぶりついたのです。おじいちゃんやんと孫のほほえましい関係が目に見えます。

秀逸

ひまわりがぼくが主役だと言っている

大垣市

安田 優芽（小六）

夏の川風といっしょに進む波

大垣市

樋口 美音鈴（小六）

木の幹にうによりによ動く毛虫かな

大垣市

大家 壮希（小六）

くつしたのはいてないとこひやけする

大垣市

ほそい みはる（小二）

ふしぎだな暑くさせるよせみの声

大垣市

松岡 采音（小四）

せんぷうきしゃべると声が変わってる

大垣市

前田 夏野子（小四）

てもちはなびどんどんいろがかわってるね

大垣市

小林 湊（小二）

こいのぼりいろが三色仲よしだ

大垣市

三宅 丈太郎（小四）

花は葉に住吉橋で待ち合わせ

大垣市

中村 朱里（小五）

かきごおりたべるとキーン何でだろう

大垣市

さく間 新太（小三）

入選

この夜空ほたるいつばい星みたい

大垣市

高橋 杏莉（小六）

夏の川流れゆるやか港町

大垣市

武井 梨鈴（小六）

夏の川船がゆらゆら橋の下

大垣市

大屋 輝月（小六）

風りんの音だけひびく昼休み

大垣市

高井 浩杜（小六）

あさがおがあいさつにこにこげんきだよ

大垣市

わたべ まゆ（小二）

ははの日におみせでかつたチョコレート

大垣市

長せ れんな（小二）

夏の風まぶたかくして黄ばうし

大垣市

高橋 未胡都（小三）

クワガタはえつとうしたよすごいんだ

大垣市

小寺 仁（小三）

かたつむりあじさいのはなたべてるよ

大垣市

藤浦 千歳（小四）

かぶとむしどこにいるかなこつちきて

大垣市

太田 咲希（小四）

夕やけのきれいなけしき大好きだ

大垣市

加藤 想士（小四）

セミの声夜まで鳴くよ元気だな

大垣市

子安 美琴（小四）

クワガタのあごはやつぱりかつこいい

大垣市

西本 航大（小四）

早起きだラジオ体そう夏休み

大垣市

佐藤 祐（小五）

おまつりで食べたにじいろかきごおり

大垣市

原 奏介（小五）

なつやすみじいじのうちはたのしいな

大垣市

こんどう さわ（小二）

ふうりんがチリンとなると夜が明ける

大垣市

木下 太き（小四）

すだちどり冬がおわってたびだつよ

大垣市

棚橋 美月（小四）

新緑に面影残す天守閣

岐阜市

松丸 紘大（十二歳）

ネットゆれサッカーボールと汗ひかる

大垣市

たなか あやと（小三）

選者吟

あぢさゐの蕾ひしめく薄みどり

好 子



小中学生の部